学習意欲の向上と生涯学習の機運を高める
生涯学習町民のつどい

1．演奏を披露する長島小合奏団と長島オールスターズ
2．受賞者代表あいさつを行う平泉中吹奏楽部の菅原さん
3．講演を行う加藤さん

4．息のあった演奏を見せる出演者
5．教育委員会表彰を受ける受賞者

町教育委員会が主催する24年度生涯学習町民のつどい・教育振興運動推進大会が2月17日、平泉小学校体育館で開催されました。教育委員会表彰に続き「教育振興運動」実践活動発表が行われたほか、元サッカー日本代表キャプテンの加藤久さんによる講演会が開かれ、生涯学習の機運を高めました。

3個人1団体を表彰

表彰では本年度文化活動やスポーツ分野で活躍した個人・団体が表彰され、佐熊睦子教育委員長から表彰状が手渡されました。また6種目の総合得点で競われた行政区対抗ふるさとオリンピアの表彰も合わせて行われ、千葉正体育協会副会長から上位3行政区に表彰状が手渡されました。

受賞者を代表し、平泉中学校吹奏楽部の菅原大誠さんが「目標にしてきた『心を一つにした演奏』を7人の息を合わせ、演奏してくることができました。さらに東北大会のレベルの高さを知り、大きな刺激を受けました。今後は、今回の受賞を糧に町民の皆さんも一緒に楽しめるような演奏を目指し、部員一同で練習に励みたい」と仙台市で行われたアンサンブルコンテスト東北大会の様子を振り返り、これからの抱負を述べました。

◆教育委員会表彰

千葉眞威人（まいと）さん（平泉小5年）
第28回全国小学生陸上競技交流大会県大会5年男子100㍍（メートル）で優勝（全国大会出場）

三瓶萌梨（さんぺいもり）さん（同6年）
第23回岩手県小学生バドミントン大会兼東北大会予選会6年女子シングルス第2位（東北大会出場）、第21回全国小学生バドミントン選手権岩手県代表

齋藤実理（みのり）さん（平泉中3年）
全国農業協同組合中央会主催第37回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール図画部門県コンクール県教育長賞、全国コンクール優秀賞

平泉中吹奏楽部・金管七重奏
全国アンサンブルコンテスト第33回岩手県大会金賞（東北大会出場）

◆ふるさとオリンピア表彰

▽優　勝＝11区（得点465点）
▽準優勝＝10区（得点430点）
▽第3位＝6区（得点315点）

地域一体となった取り組み

「教育振興運動」実践活動発表では、長島小PTA会長の石川幸輝さんが平成22年度から児童や保護者、地域の住民などが参加して開催されている「長島小親子ふれあいコンサート」の取り組みについて発表しました。

またこのコンサートに参加している児童、保護者、地域住民の代表3人が「人の心に響く音を目指して活動してきました。今回のコンサートでも長島オールスターズの皆さんと一緒に、よりたくさんの人に元気になってもらえる演奏、勇気を与えられる演奏になるよう心を込めました」「親子全員でふれあいコンサートに参加でき、いっしょに演奏できたことが我が家にとって大切な宝物になっています。子どもと親、そして地域が一体となれる活動の一つが親子ふれあいコンサートであることを誇りに思い、これからも長小の応援団として頑張っていきたい」「長小の子どもたちや地域の人たちと一緒に演奏できたことをうれしく思う。今の子どもたちが中学や高校、大学や社会人となったとき、また地域の皆さんと一緒に、演奏をできればいいなと思います」とそれぞれ感想を話しました。

最後に石川さんが「この親子ふれあいコンサートは、子ども、家庭、学校、地域、行政が一つになった特色ある活動です」と締めくくり、長島小学校合奏団とオールスターズがランドオブサウザンドダンスなど2曲の演奏を披露。素晴らしい演奏に訪れた観客は魅了され、会場からは盛大な拍手が送られていました。

子供たちの笑顔のために

講演会では、元サッカー日本代表主将でサッカー解説者・NPO法人ヴィクサーレ沖縄FC代表の加藤久さんが「子供たちの笑顔のために～復興支援活動を通して学んだこと～」と題して講演。被災地各地でサッカーを通して行った復興支援活動や数多くの出会いなどを紹介し、「大人たちの一生懸命さが子どもたちのエネルギーと笑顔を取り戻し、大人は子どもの笑顔や元気に励まされている。身近な人への感謝の気持ちを忘れず接することが大切」と来場者の心に静かに染みいるように話していました。

放射線対策について意見を交わす
まちづくり懇談会を開催

子どもたちの未来を考えよう平泉の会とのまちづくり地域懇談会が2月19日、町役場で開催されました。

懇談会は、放射線対策をテーマに行われ、これまでの除染経過や今後の対策などについて意見を交わしました。

主な意見は次の通りです。

Q　風の強い日などの野外活動の自粛について

A　昨年、各学校や保育所などへ、野外活動後の手洗いやうがい等についての注意喚起を行っている。

Q　除染については、どの程度進んでいるのか。またずさんな除染作業が多いと新聞などで見かけるが大丈夫か？

A　中学校がもうすぐ終わる予定であり終わり次第、除染状況について公表したい。除染作業を行っているのは地元業者なので、信用している。

Q　給食食材について毎週検査してもらってありがたいが、市場流通品もできないか。

A　市場流通品については、抜き打ちで県が行っており、すべて基準値以下であった。

Q　子どもの内部被ばく検査などについて、余った予算で再募集できないか。

A　検査については、2度の募集を行ったが、受検率は17%弱にとどまった。再募集については、24年度事業であり、今からは時期的に難しい状況である。

懇談会終了に際し、町の未来を担う子どもたちのために、誠心誠意、取り組んでほしいと要望があり、懇談会を終了しました。

放射線対策について意見を交わした懇談会